

〈ミッション〉
自立
追究
共生



未来創造

松江市立義務教育学校
玉湯学園だより
令和8年7月17日
校長 後藤康太郎

ジダイをリードし、あいにあふれた社会形成の力を育む
～自ら「気づき・考え・実行し、リスペクトしあう」玉湯学園～

「整える」夏休みに！

7月17日（金）、本校も終業式を迎えます。玉湯学園にとって6年目の学園のスタートでしたが、児童生徒は、授業はもちろん、様々な活動や各種行事などを通して、1学期の間に本当に大きく成長しました。

保護者の皆さん、地域の方々にも適時適所でご支援いただき、本当にありがとうございます。

1学期の終わりに当たり、終業式で次のような話をしました。

・・・・・・・・・・・・・・・・

1学期が終わろうとしています、みなさんは、どのくらい目標に向かって前進できたでしょう。人それぞれであったかもしれませんが、成功も失敗もすべてみなさんの成長につながったと考えれば、すべての人が、目標に向かって前進した1学期であったと思います。

明日からいよいよ夏休みです。夏休みもそれぞれが目標をきめて、しっかりと頑張れる毎日であってほしいと願いますが、それと同時に、もう一つ皆さんに、夏休みの間だからこそ、取り組んでもらいたいことがあります。

それは「整える」夏休みにしてほしい、ということです。そして整えるものは三つあります。それは「頭」と「体」と「心」です。

まず、「頭」を整えましょう。

毎日少しずついいので、本を読んだり、宿題に取り組んだり、自分の興味のあることを調べたりしてください。夏休みは、自分で考え、自分で学ぶ力を伸ばす絶好の機会です。

次に、「体」を整えましょう。

暑い日が続きます。早寝・早起き・朝ごはんを心がけ、しっかり食べ、適度に体を動かし、十分な睡眠

をとってください。生活のリズムが整うと、元気に毎日を過ごすことができます。

そして、一番大切にしてほしいのが、「心」を整えることです。家族や地域の方に感謝の気持ちを伝えたり、お手伝いをしたり、友達や周りの人思いやる行動をしたりしてください。また、自然の中で過ごしたり、静かに自分を振り返る時間をもつことも、心を整えることにつながるでしょう。

「頭」「体」「心」は、どれか一つだけではなく、三つがそろってこそ充実した毎日を送ることができると思います。

夏休みは自由な時間がたくさんあります。その自由な時間をどう使うかで、2学期の自分がきっと変わると思います。ぜひ、「頭」と「体」と「心」を整える夏休みにしてください。

最後になりますが、交通事故や水の事故、熱中症には十分気を付け、自分の命を大切にしてください。過ごすことも忘れずに。

2学期の始業式には、元気な笑顔でみなさんと会えることを楽しみにしています。

それでは、充実した、そして「整える」夏休みにしてください。

・・・・・・・・・・・・・・・・

子ども達にとっては、懸命に走り続けた1学期だったと思います。夏休みも様々なチャレンジが待っていることと思いますが、地域やご家庭で過ごすなかで、少し心を落ち着けて、自分の成長を振り返り、「整える」期間になればと期待しています。



2年生が中庭で育てているミニトマトも大きく育ちました

大変お世話になりました

～職場体験学習(9年生)～

7月1日(水)～3日(金)の3日間、近隣の事業所にて職場体験学習を実施しました。

職場体験学習は、生徒が実際の職場で働く人々と関わり、仕事のやりがいや責任、社会のルールを学ぶ貴重な機会となります。学校での学びと社会とのつながりを実感するとともに、自分の将来や生き方について考えるきっかけとなりました。また、あいさつやコミュニケーション、協力する姿勢など、社会人として必要な力を育むことにもつながります。

9年生は3日間の体験を通して、様々な学びを得たようです。

ご協力いただいた事業所等の皆さまからは次のようなお言葉をいただきました。

- ◆元気があって、お客様にも好評でしたし、一緒に働くスタッフにも活気が出て、とてもいい結果になりました。ありがとうございました。
- ◆挨拶や受け答えが終始ハキハキとしており、大変好感が持てました。学校生活や部活動を通じて培われた礼儀や規律が身についていることが感じられ、真面目に職場体験へ取り組む姿勢が印象的でした。今後のさらなる成長を期待しています。
- ◆まわりを見て行動できていてとても素晴らしいと思いました。
- ◆初日は緊張で表情が硬いところもありましたが、日に日に慣れられ、笑顔が見られるようになりました。慣れないこともたくさんあったと思いますが、お願いしたことを丁寧にこなそうと真面目に取り組まれる姿勢、こちらの声掛けに気持ちの良い返事をされる姿に学生さんらしさを感じました。
- ◆作業や挨拶などを含めた生活態度や姿勢がメリハリがありとても良かった。はきはきした印象で質問を社員にする点などコミュニケーションを進んで取っていた。単調な仕事にも前向きに作業していたところが印象に残っている。
- ◆積極的に子どもたちに関わり、自分から進んで仕事に向かおうとする姿勢から実習への意欲が感じられました。



実習中の写真の一部です。全部紹介できず、ごめんなさい。

ご協力いただいた事業所の皆様

本当にありがとうございました！

ホームページも

ご覧ください！

学園の日々の様子を紹介しています。



サンレイク宿泊研修(5年生) がんばりました！

6月24日(水)・25日(木)に5年生はサンレイクへ宿泊研修にでかけました。

「規律、協同、友愛、奉仕、全力の5つの心」を育てることを意識して、準備の時から様々な課題に気づき、しっかりと前向きに考えて取り組んでいました。

当日はあいにくの強風で湖面の活動はできませんでしたが、室内での様々な活動を通じて、さらに絆を深めることができましたのではないのでしょうか。サンレイクでの「同じ釜の飯を食う」経験が、これからの活動にきっと生きることでしょう。



ニュースポーツも楽しみました。



レザークラフトにも挑戦。



仲間づくりのエクササイズ中です。



キャンドルサービスは厳かに。

島根かみあり(2030) 国スポ・全スポに向けて

2030年に島根県で開催される「島根かみあり国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」に向けて、島根県では小中学生を対象に、スポーツの楽しさや体を動かす喜びを感じられるさまざまな取組を進めています。

今年度玉湯学園では「ハンドボール」の体験会を実施することになり、6月30日(火)と7月3日(金)の二日間にわたり、6年生がハンドボール競技を体験しました。

また9年生の本校選手が先日開催されたゴルフ競技の国民スポーツ大会(中国ブロック大会)に島根県代表として出場し、健闘しました。

国スポの機会を通じて、競技力の向上はもとより、多様な競技に触れたり、アスリートと交流したりする機会を通して、運動に親しみ、挑戦する心や仲間と協力する大切さを育ててほしいと願います。



パスをしあったり、ゴールにシュートを決めたり、ハンドボールの魅力にふれました。



ゴルフ競技の島根県選手団のみなさんです。



～～7月あれこれ～～

【川の学習にでかけました〔4年生〕】

4年生は総合的な学習の時間に、玉湯川について学習しています。水質調査をしたり、水生生物を調べたりして、ふるさと玉湯を身近に感じながら学習を深めました。今年は蛍が見られるでしょうか。



川の生き物の観察なども行いました。

【防災学習・救急救命法講習〔8年生〕を行いました】

東京で発生した学校火災のニュースはびっくりしましたが、火災に限らず災害はいつやってくるかわかりません。7月8日（水）に防災についての学習と救急救命法の実習を日本赤十字社さんの協力で8年生が受けました。海水浴などのシーズンも始まります。みんな真剣に取り組んでいました。

また、同じ日に災害時の避難器具について、新聞社の取材も受けました。玉湯学園では防



第1校舎2階の救助袋

火シャッターや消火設備のほかに、垂直に避難する「救助袋」が設置されていますが、それらの設備についての取材です。いざという時にしっかり活用できるようにしたいと考えています。



真剣に取り組んでいます。

【保育実習を行いました〔9年生〕】

7月6日（月）に9年1組の生徒が、湯町保育園で、また16日（木）には2組が第2玉湯さくら保育園で保育実習をしました。家庭科にある「保育」の単元の学習です。一緒に踊ったり、絵本を読んであげたりと、園児と一緒に活動しました。



絵本の読み聞かせをしました。

～ちょっといいお話を聞きました～

先日保護者の方から次のようなお話をうかがいました。

家の近くで遊んでいた前期ブロックの子がたまたま転んで足を擦りむいたようです。近くを通りかかった8・9年生が親切に傷を洗い流して絆創膏まではってくれたそうです。嬉しくて学校に連絡をされたとのことでした。

折しも7月は「社会を明るくする運動」の強調月間で、13日（月）には校門での啓発活動も行われました。

思いやりのある行動は、相手を笑顔にするだけでなく、学校全体、そして社会全体を明るく温かい雰囲気にしてくれます。1年生から9年生がともに過ごす玉湯学園であればなおさら、一人一人が優しさと感謝の気持ちを大切に、安心して過ごせる学校をつくっていきたいと感じました。



「社会を明るくする運動」の啓発活動の様子です。